

一期一縦・

**SILKLAND**

gallery news & communication

No.149

ギャラリー通信

July 2021

<https://www.silkland.co.jp>

# 萌芽の時を経て

日本画二人展

飯田 文香 × 山本 瞳

7/11(日)~24(土)

11:00~19:30(土・日・祝祭日は18:30まで) \* 最終日は午後5時閉廊

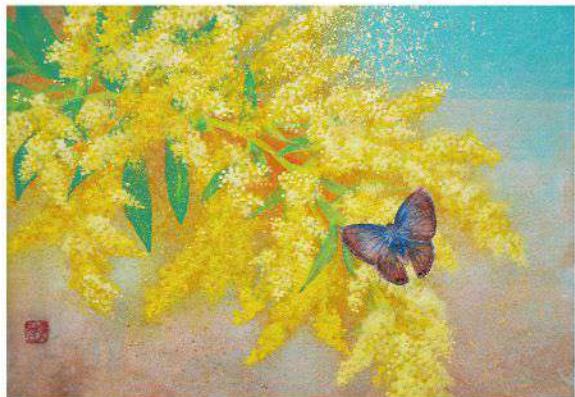
\* 作家在廊日時については、画廊までお問合せください。

## ごあいさつ

2018年からの当画廊企画『recommend展』においても参加いただいた二人の女性日本画家。同じ年に生まれた二人の現在は、年齢的にも技量的にも次なるステップに向かう充実期を迎え、取り組もうとするモチーフの中にそれぞれのこだわりも変化の眼差しを感じさせます。飯田文香の色彩とその構成力、山本瞳が日常の中から見出す繊細な感情や記憶の断片に宿る心象…共通項があるとすれば、常に表に現れていくとも微かに存在する内なるものを捉えて自らの物語を紡いでいる豊かな想像力でしょう。ぜひこの機会に、ご高覧賜りますようご案内申し上げます。

令和3年7月

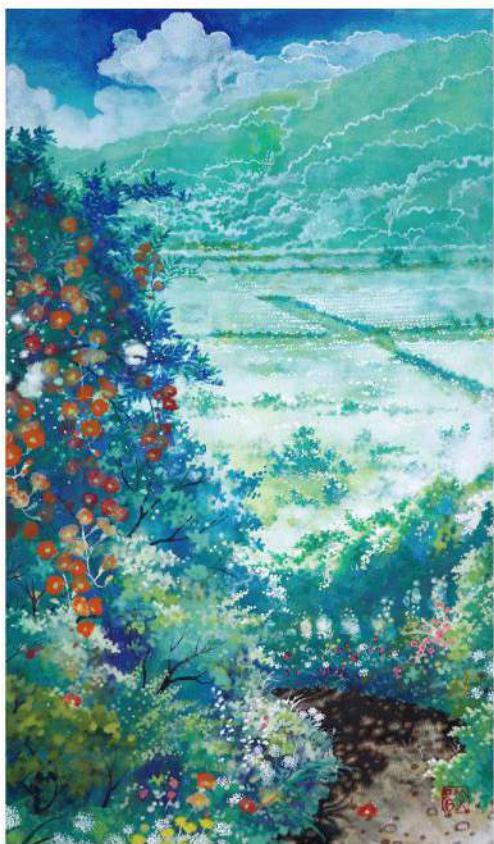
シルクランド画廊



飯田 文香《背高泡立草と尾白小灰》SM



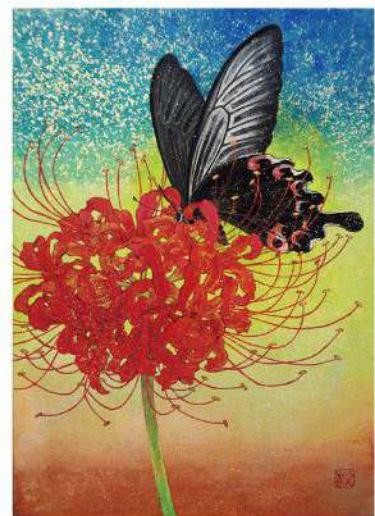
飯田 文香《雪の青》P20



飯田 文香《凌霄花の揺れる道》M3



飯田 文香《檜扇と黄揚羽》SM



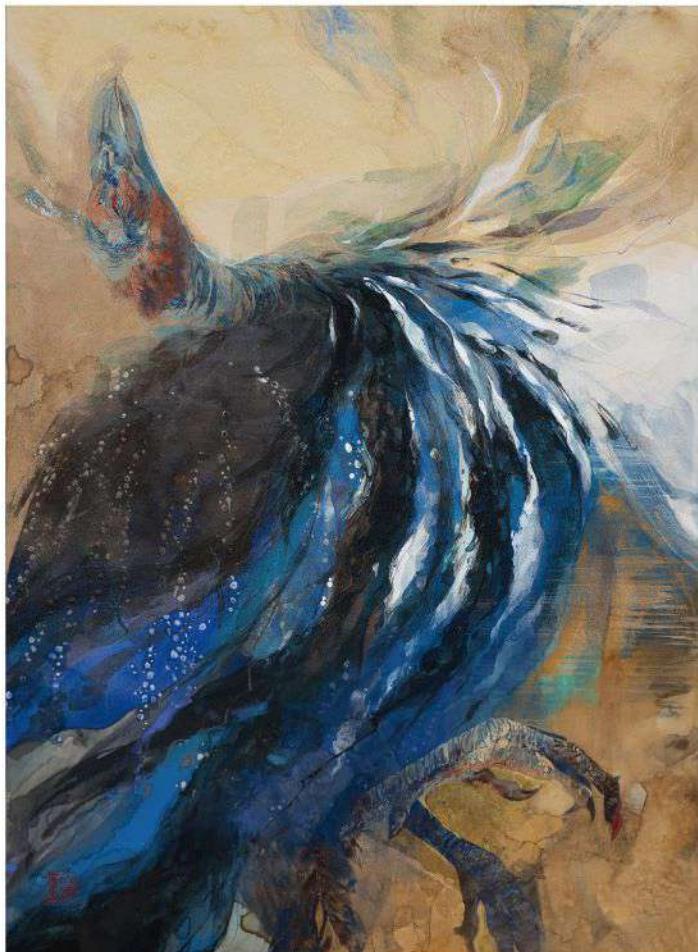
飯田 文香《彼岸花と黒揚羽》SM

### QRコード



YouTube  
「シルクランド画廊チャンネル」

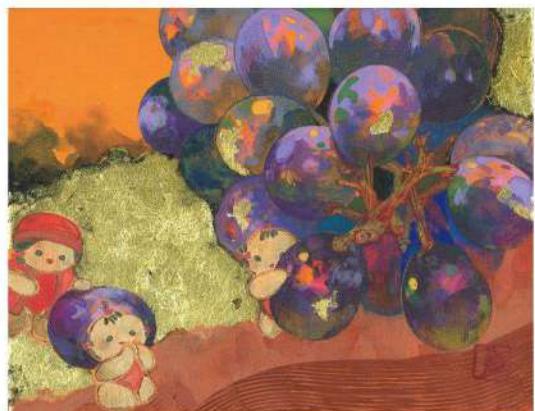
展覧会の会期に合わせて制作した動画を  
YouTubeにてご視聴いただけます。



山本 瞳 《風纏》 P20



山本 瞳 《花溜まり》 F4



山本 瞳 《隠れん坊》 F0



山本 瞳 《夕》 22.7×15.8×4.2cm



山本 瞳 《遊泳》 18×18cm



山本 瞳 《白日》 22.7×15.8×4.2cm

Information  
展覧会情報



何 強華 《樹の谷》 10号

7/25 - 8/21  
サマーセレクション  
~涼風をとどけるアート~

清涼感ある水辺の風景や、夏の風物詩をモチーフに描かれた作品を集めて、油彩、水彩、日本画を主に、特別頒布価格品も一部ご紹介いたします。

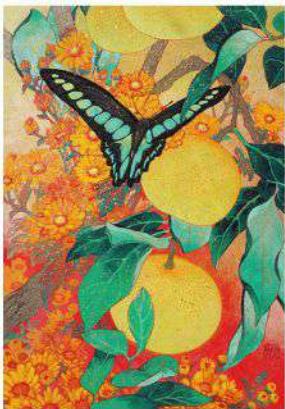


《猫》 F0

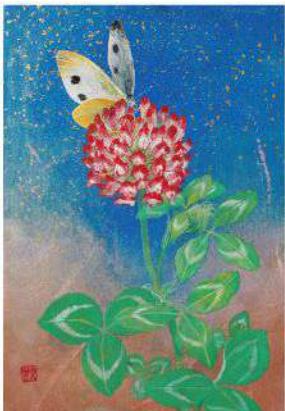
9/5 - 18  
山田りえ展

艶やかでエネルギーに満ちた作品世界が、自然の草花や動物、人物画にいたるモチーフにも展開され多くのファンを魅了する山田りえ先生の個展をご紹介。

● 8/22 - 9/4 常設展



飯田 文香《菊と青筋揚羽》SM



飯田 文香《赤詰草と紋白蝶》SM

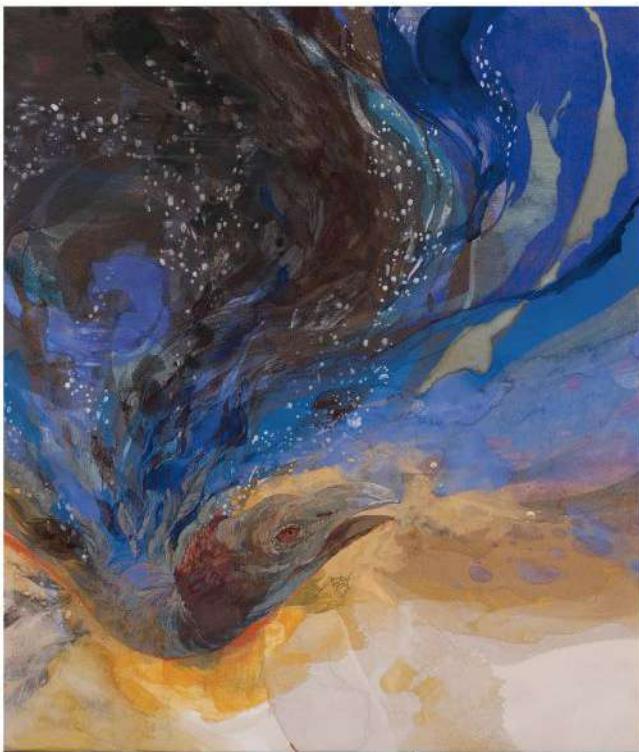


飯田 文香 Ayaka Iida

1990年 横浜市生まれ  
2014年 多摩美術大学絵画学科日本画専攻卒業  
神奈川県美術展 特選  
2015年 未来展（日動画廊）特別賞  
2019年 第7回桜花賞展（郷さくら美術館）  
2020年 第9回「風」展入選  
あいおいニッセイ同和損保奨励賞



飯田 文香《竹の小道》P6



山本 瞳《はぐれ星と涙雨》F10

生まれ育った環境や土地、目に見えるもの見えないもの、記憶や思想すべてが蓄積されて今のがあり、無意識に生まれるマチエールや色の構成は自身のフィルターを通して画面に零れ落ちたものです。モチーフの背景と自身の感情と記憶、思想を形象化して1枚1枚の作品に物語性をもたせ鑑賞者と分かち合う方法を探求しながら制作をしています。

—— 山本 瞳



山本 瞳《夜夜中》22.7×15.8×4.2cm

山本 瞳 Hitomi Yamamoto

1990年 愛知県生まれ  
2017年 多摩美術大学絵画学科日本画専攻卒業  
2019年 多摩美術大学大学院美術研究科  
博士前期課程日本画研究領域修了  
2020年 第8回桜花賞展（郷さくら美術館）  
現在 多摩美術大学日本画研究室助手



## シルクランド画廊

〒104-0061 東京都中央区銀座 6-5-11 第15丸源ビル1階

Tel 03-5568-4356 Fax 03-5568-4357

<https://www.silkland.co.jp> e-mail gallery@silkland.co.jp

アクセス ■ 地下鉄丸の内線、銀座線、日比谷線「銀座駅」B7,C2出口 徒歩2分 ■ JR「新橋駅」銀座出口 徒歩6分

